



かがやく瞳

令和4年度

2022. 5. 18

No. 9

第46回大運動会 ～思いっきりの日～

おかげさまで運動会を無事行うことができました。いつものように感染の心配の中での開催でしたが、日頃の感染予防や準備・当日の係にたくさんのご協力をいただきました。本当にありがとうございました。人数制限なく、ほぼ通常の運動会として開催できたことも嬉しいことでした。「人と人とのつながりが東大曲小の財産」であることを改めて感じる事ができました。嬉しいこともたくさんあった運動会でした。そのうちの3つの「うれしかったこと」をお伝えします。

＜うれしかったこと①＞ ～応援合戦に向けての成長～

応援合戦の練習を始めた頃は、応援の型を覚えるのに精一杯だったこともあるのですが、子どもたちの気持ちがこもった応援とまではいきませんでした。6年生も先生たちも心配しました。これではいけないと、前にお知らせしたように6年生が、練習時間の特設を先生たちにお願ひしました。そして、1時間の応援練習が特設されました。そこで6年生は「お願いを聞いてもらったからには責任がある。がんばらなくては。」と思ったのでしょう。大声を張り上げ、毅然と指示を出し、旗を大きくふり、応援歌は半分叫びとなり一皮剥けたようでした。迷いや恥ずかしさなく、前に立って引っ張っていく人になりました。変化と言うより変身でした。その変身は、下級生に広まりました。みんなで大きな声を出してがんばる一体感が生まれていきました。本番では、練習以上の思いっきりの姿を見ることができました。嬉しくてあやうく採点を忘れてしまうところでした。



【思いっきりの声でエールをリード】

＜うれしかったこと②＞ ～応援し合う姿・感謝し合う姿～

どの競技でも学年を越えて応援する姿が見られたことも嬉しいことでした。閉会式ではたくさんの拍手が子どもたち、そして、会場のみなさんから起こりました。たくさんの拍手の中で一番嬉しかった拍手は、全員リレーで白組がゴールした時の拍手でした。全員リレーは中盤頃から、白組が赤組・黄組に半周近く差をつけられてしまいました。勝負を赤組と黄組が争っている間、白組の走者は諦めず全力で追いかけてきました。終盤、差は開くことなく、半周ほど遅れて白組のアンカーが3位でゴールしました。1年生から6年生全員の子どもたちが拍手していました。会場からも拍手が起こりました。閉会式が終わった後の感謝し合う姿も嬉しいことでした。「これで閉会式を終わります。」とアナウンスがあった後、5年生の代表2人が「ちょっと待ったあ。」と前に出てきました。「6年生は前に出てきてください。」「運動会が楽しくできたのは6年生がリードしてくれたお陰です。みんなでお礼を言いましょ。ありがとうございましたあ。」全員が「ありがとうございましたあ。」と続けました。それに応えて6年生が「ありがとうございました。」と返しました。



【お互いに感謝し合ったサプライズ】

お互いに感謝し合う姿、嬉しかったです。

＜うれしかったこと③＞ ～学年を越えた保護者のみなさんのご協力～

運動会当日は保護者のみなさんにもお力を貸していただきました。今年度から PTA 組織が学年混成の構成に変わりました。保護者のみなさんも学年を越えて一つの役割に協力する姿を見ることができました。今までになかった協力の姿、とても新鮮に思うと同時に、この後の行事でも様々な交流が生まれ、みんなで支え合うつながりが広がっていくことを願っています。ご協力ありがとうございました。



【記録係の仕事の様子】

運動会を終えて ～6年生の作文より～

ぼくは運動会で O (思いやり) S (支え合い) はあまりできませんでした。けれども、A (あこがれの的) はできました。特にエール・応援歌ではあこがれの的になりました。エール・応援歌は、大きな声で言えました。優勝を目指していっしょうけんめいがんばりました。けれども優勝することができませんでした。それでも、2位がとれました。みんなで力を合わせて、がんばった結果が出ました。でも、赤も白もみんないいところがありました。ひだまり学年最後の運動会でした。とても楽しいと思うことができました。いい結果が出てよかったです。(〇〇〇〇さん)

昨日、ひだまり学年最後の運動会を開催できたことがうれしかったです。みんなの協力を感謝したいと思います。その中でも、赤組が優勝できて本当にうれしかったです。なぜなら、他の赤組のみんなと心一つにして今まで練習してきた成果が表れたからです。はじめての応援練習の時、友だちに「次、何をする？」と聞いていました。5年生の先生に「あなたが団長なんだから、もっと自信をもってやっついていいよ。」と言われました。ぼくは目が覚めて、失敗してもいいからとにかく自分で考えてやろうと思ひ自信を持ってやることができました。これからはぼくたちが下級生を引っ張るときが来ると思ひます。その時も自信を持って指示したいと思います。(〇〇〇〇さん)

私は今日の運動会で、またいつもと違う『長』を出し切れたと思ひました。1つ目の O (思いやり) は、S (支え合い) A (あこがれの的) で全力をふりしぼり、準優勝へと黄組を導き、全員で他の組とも協力して全校みんなでよい結果とよい運動会にできました。当日までに少なかつた練習時間を増やしてもらいました。チームワークを生かした演出を入れることができたのは、黄組のメンバーだけでなく、赤組や白組の熱さと気合いが伝わって「もっとできる!」という気持ちに火がついたからだと思ひました。6年生で最後まで難しいことを乗り越えてできた運動会を、来年も思ひ出したいです。(〇〇〇〇〇〇さん)

今日は運動会がありました。100m 走は2位で1位までもう少しでした。芸走ではめがねが取れるなどのハプニングがありましたが、1位を取れたのでよかったです。リレーでは赤組との差が開いていたけれど、自分の走りができてよかったです。全体的には応援練習が少し残念でした。声は出ていたけれど、もう少し内容を工夫したかったです。これはぼくたち6年生の問題で、下級生のがんばりのおかげで2位になれたと思ひます。ぼくは O (思いやり)、S (支え合い) A (あこがれの的) の中で、O をがんばることができました。(〇〇〇〇さん)



【アナウンスもがんばりました】



【宣誓が意欲をさらに高めてくれました】



【やはり、6年生の走りは力強い】



【迷いなく全力の声で応援をリード】

6年生全員の作文を読ませてもらいました。運動会が子どもたちにとってどれほど大きな意味があるのかを感じさせられる内容でした。6年生全員の運動会でのドラマが凝縮された作文を次号でも紹介します。